

基本政策Ⅳ

地域資源を生かした 新たなにぎわいと活力を 創出するまちづくり (産業・交流)

● 農業・林業・漁業	97
● 工業	100
● 商業	102
● 観光	104
● 雇用環境	106
● 交流	108

IV-① 農業・林業・漁業

ビジョン

持続可能な農林漁業のまちづくり

● 現状と課題 ●

- 本市における農業・林業・漁業を巡る現状として、第1次産業従事者の高齢化や施設の経年劣化による機能低下などがあり、後継者の育成や設備の維持管理・更新などが求められています。
- 農地の維持、農業用施設の補修・維持管理を行い、地域資源の適切な保全管理、農業の保全、収入の安定化を図る必要があります。
- 漁業の競争力強化を図るため、既存の漁港施設の管理保全及び流通の効率化、集出荷機能の集約など、生産基盤の整備や安全で効率的な水産物の供給体制を構築する必要があります。

基本的な方向性

農山漁村は、国土の保全、良好な景観の形成等の様々な役割を有しています。そのため、農業・林業・漁業を巡るスマート化や有機農業、6次産業化*の推進を通じて、生産者や関係機関・団体等と連携しながら施策の一体的な展開を図り、魅力と活力ある農村生活環境づくりを推進し、経営体制の強化など多面的な取組を進めます。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 農業生産基盤の整備

■ 主要な施策

- ▶ 農業用施設の適正な機能管理
- ▶ 農村環境の良好な保全の支援
- ▶ 農業用施設の計画的な機能保全

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現 状 値	目 標 値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
農業水利施設（河川樋門・除塵機）の長寿命化対策進捗率	%	—	100.0	—
農道構造物（トンネル・橋りょう）の耐震化率	%	—	100.0	—

基本目標 2 生産性・収益性の高い農業の実現

■ 主要な施策

- ▶ 農地の集積や認定農業者制度の活用による農業の担い手・後継者対策の推進
- ▶ 人・農地プラン*等を推進することによる事業集積・集約化
- ▶ 効率的な生産技術の導入やスマート化・機械化による省力化の推進
- ▶ 移住就農者の増加を目的とした農業体験への受入体制・就農条件の充実
- ▶ 有機栽培等の高付加価値化による「もうかる農業」の推進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現 状 値	目 標 値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
新規認定農業者数（累計）※	人	5	36	56
特別栽培米（節減対象農薬と化学肥料の節減）の作付面積	ha	25	30	35
施設野菜（ハウスきゅうり）の栽培面積	ha	3	4	5

※ 現状値は単年度数値で、2024年度及び2028年度の数値は、2021年度からの累計

基本目標 3 第1次産業の諸課題の解決と売れる商材の確立

■ 主要な施策

- ▶ 竹資源の活用と放置竹林の再生
- ▶ 有害鳥獣を食肉（ジビエ）の地域資源としての有効活用

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現 状 値	目 標 値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
放置竹林再生面積	ha	38	42	46
有害鳥獣の食肉（ジビエ）としての有効活用頭数	頭	—	200	250



Ⅳ-② 工業

ビジョン

産業振興で活力あるまちづくり

● 現状と課題 ●

- 本市には、国内有数の企業が立地しており、これまで本市の産業や雇用を支え、また、大多数を占める中小企業が産業の振興を担っています。しかし、これら既存企業を取り巻くビジネス環境は厳しさを増しており、少子高齢化や人口減少による市場規模の縮小や後継者・人手不足など様々な問題があります。若者世代が定住し、将来に希望を持つことができる持続可能な発展を進めていくためにも、すべての市内事業者が元気に活動できる環境を整える仕組づくりが必要です。
- 本市では、分譲可能な工業団地等を保有していないため、製造業等の工場を誘致するためにも、新たな立地環境の整備が必要となります。また、地方進出を目指しているＩＴ関連企業や地域課題解決型ビジネス企業等の誘致に対応できる環境を整備していくことが今後の課題です。
- 国は、ポストコロナにおける「成長の源泉」として、グリーンとデジタルを掲げ、「2050年カーボンニュートラル（脱炭素社会）＊の実現」を宣言しています。この宣言を推進エンジンとして、野心的なイノベーションに挑戦する企業を、今後10年間、継続して支援する2兆円の基金の創設を打ち出して、環境と成長の好循環を目指そうとしています。

基本的な方向性

県南の産業・経済の中心都市としての役割を担うため、市内立地企業の安定した操業継続・操業拡大を促進し、雇用の場の安定した確保を図るとともに、世界に向けて発信できる新製品・新技術の開発や技術の高度化の支援をします。

新産業の立地、新産業の創出を促進し、新たな企業誘致や若者の定住・雇用の確保を図るとともに、起業家を支援します。



基本目標 4 森林の多面的かつ持続的な機能の発揮

■ 主要な施策

- ▶ 森林整備の根幹となる所有者間の境界の調査と明確化
- ▶ 森林管理システムによる適正な森林管理・水源確保・山地災害等の予防

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
境界を明確化した森林面積	ha	2,600	2,800	3,000
適正な森林管理のための意向調査対象者数	人	870	7,600	7,800

基本目標 5 漁業経営体制の強化と安全・安心な漁業環境の整備

■ 主要な施策

- ▶ 漁業協同組合との協働によるつくり育てる漁業の振興
- ▶ 担い手・後継者の育成
- ▶ 経営の充実・安定化の支援
- ▶ 高度衛生管理施設＊の整備
- ▶ 流通体制の整備と消費の拡大の支援

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
種苗＊の放流を行う魚種	種	3	5	5

関連する個別計画

- 農業振興地域整備計画
- 農林漁業の健全な発展と調和のとれた再生可能エネルギー電気の発電による農山漁村の活性化に関する基本計画
- 阿南市水田フル活用ビジョン・那賀川川北水田フル活用ビジョン

関連するSDGs



基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 既存企業の振興と新たな企業誘致の促進

■ 主要な施策

- ▶ 既存企業の操業拡大と応援態勢の強化
- ▶ 工業用水の安定的な確保
- ▶ 企業誘致の促進
- ▶ 中小企業の経営基盤強化
- ▶ 阿南工業高等専門学校等の学術機関及び LED 関連企業との連携強化
- ▶ 高速道路ネットワーク*の開通を見据えた新たな産業基盤形成の検討

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
市内主要企業で働く従業員数	人	9,286	10,000	11,000
奨励措置指定工場の新規件数	件	4	4	4
空工場等の情報保有件数	件	—	4	4

基本目標 2 新産業の創出を担う起業家の育成

■ 主要な施策

- ▶ 新産業の創出・起業支援
- ▶ 県と連携したとくしまイノベーションセンター*等の活用促進

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
創業支援セミナーにおける受講者数	人	15	20	20

関連するSDGs



Ⅳ-③ 商業

ビジョン

商業の振興によるにぎわいと豊かなまちづくり

● 現状と課題 ●

- 消費者ニーズの多様化や大型商業施設の進出、インターネットショッピングの普及などにより、本市の商業を取り巻く環境は厳しい状況です。
- 経営者の高齢化や後継者不足により、経営意欲の低下が見られます。近年は、後継者不足で事業承継ができず、廃業を検討している経営者が増加しています。
- 商工会議所や商工会、商店街等と連携し、経営の診断・指導の実施や金融支援等の取組が必要となっています。

基本的な方向性

中小企業事業者の競争力強化を目的として、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における事業者の創意工夫による経営革新や経営基盤強化への自主努力を支援するため、阿南市中小企業振興基本条例の基本理念に基づき、市及び関係団体はそれぞれの役割に沿った取組を行います。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 中小企業振興の推進

■ 主要な施策

- ▶ 地域の特産品開発と販路の拡大の促進
- ▶ 助成・融資制度による中小企業振興支援
- ▶ 子どもの勤労観及び職業観の醸成

■ 成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
阿南まちゼミ講座*への年間参加事業所数	事業所	44	50	55

基本目標 2 商業者の育成及び資質の向上

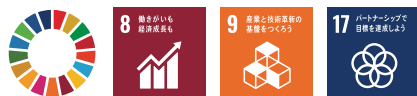
■ 主要な施策

- ▶ 商業者組織の充実・強化
- ▶ 商業経営の近代化・合理化の促進
- ▶ 商工業振興センターの利用促進
- ▶ 商店街の活性化の促進

■ 成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	
		2019年度	2024年度	2028年度
中小企業事業者の経営相談件数	件	13	18	23
商工業振興センターの利用者満足度	%	70.0	80.0	90.0

関連するSDGs



IV-④ 観光

ビジョン

豊かな地域資源を生かした観光・スポーツツーリズムのまちづくり

● 現状と課題 ●

- 観光の形態が個人や小グループによる体験・体感型へと変化する中、観光地には旅行者のニーズに合った受入環境の整備が求められています。本市には、魅力あふれる観光資源が点在していますが、有効に活用されていないのが現状です。
- 国民的スポーツであり、本市でも生涯スポーツとして盛んに行われてきた「野球」をまちおこし策として捉え、野球大会の開催、野球観光ツアー、野球合宿の誘致等による県内外からの集客により産業の振興及び地域の活性化に寄与しています。
- 本市の豊かな自然とスポーツを融合した新しい形の合宿・観光ツアーの実施や、市民関心度の高いイベント等を開催することで、交流人口の拡大や関係人口の創出・拡大を図る必要があります。

基本的な方向性

室戸阿南海岸国定公園等の恵まれた自然や歴史、文化、国史跡を中心とした文化財を生かしながら、体験・体感型観光プログラムや観光ルートを確立するとともに、安全・安心で快適な「新しい旅行スタイル*」に沿った観光需要に応える受入環境の整備を促進し、広域的な連携と「光のまち阿南」「野球のまち阿南」「SUP タウン阿南」「スポーツツーリズム*」などをキーワードに、本市の地域資源とマッチングした新たな観光開発を促進します。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 地域資源を生かしたスポーツツーリズムの推進

■ 主要な施策

- ▶ スポーツツーリズムによる産業の振興・地域の活性化、交流人口の拡大、関係人口の創出・拡大



成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	
		2019年度	2024年度	2028年度
野球観光ツアーへの参加延べ人数	人	300	400	400
野球合宿への参加延べ人数	人	1,400	1,600	1,600
スポーツツーリズムの経済効果額※	千円	80,000	400,000	800,000
野球大会への参加延べ人数	人	4,500	5,000	5,000
SUP体験参加延べ人数	人	470	800	1,000

※ 現状値は単年度数値で、2024年度及び2028年度の数値は、2021年度からの累計

基本目標 2 観光交流による活力あふれるまちづくりの推進

主要な施策

- ▶ 広域的な観光振興体制の充実と事業の強化

▶ インバウンド誘致環境整備の促進

▶ 観光関連団体との連携・協力によるイベント等の開催

▶ 地域資源の一層の充実、活用及びネットワーク化
- ▶ 本市ならではの体験・体感型観光プログラムの造成支援

▶ 特産品のPR

▶ 広報紙やケーブルテレビ、SNS等の積極的活用による本市の魅力発信

成果指標

指標名	単位	現状値	目標値	
		2019年度	2024年度	2028年度
観光客入込数（延べ人数）	人	641,893	650,000	650,000
観光関連イベント来場者数（延べ人数）	人	117,543	120,000	120,000

関連するSDGs



IV-5 雇用環境

ビジョン

誰もがいきいきと働き続けられるまちづくり

● 現状と課題 ●

- 雇用拡大のため、徳島労働局や阿南公共職業安定所等関係機関と連携を図りつつ、今後は、地元企業や商工会議所等と、なお一層の連携強化が必要です。
- 高齢者に多様な就業機会を提供する阿南市シルバー人材センターの事業運営を支援し、人手不足の悩みを抱える中小企業や育児・介護関連等で働く現役世代を下支えしていますが、定年の引き上げを始めとする労働形態の変化等により、同センターの会員数が年々減少しています。
- 多様化する就業ニーズに対応し、退会を防止するとともに、新規会員数を更に伸ばしていくことが課題となっています。
- 介護職を始めとする慢性的な人材不足となっている多様な業界において、若者の定着を図るための施策や外国人労働者の受入れを検討していく必要があります。

基本的な方向性

市民が安心して働くことができる環境づくりのため、雇用の創出及び拡大を図るとともに、関係機関や企業と連携して、高齢者や障がい者、女性、外国人等の人権が尊重される職場環境に向けた啓発や勤労者福祉の充実に向けた取組に努めます。

また、「阿南市シルバー人材センター」に対する支援や、介護職に対する奨学金等の制度を導入することにより、高齢者の雇用の場の確保と慢性的な人材不足の解消を図ります。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 職場環境の整備や向上

主要な施策

- ▶ 職場環境の整備促進

▶ 就職差別撤廃の促進
- ▶ 勤労者福祉の充実

成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
労働相談会や働き方改革相談会の実施回数	回	1	4	4
徳島勤労者福祉サービスセンター加入事業所数	事業所	78	80	83

基本目標 2 安定的な雇用に向けた支援

主要な施策

- ▶若者の就労及び定着に向けた支援
- ▶高齢者、障がい者及び女性の雇用の場の確保

成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
就労相談の実施件数	件	104	130	130
阿南市シルバー人材センター会員数（直近3年度の平均）	人	836	850	870
奨学金制度利用による若者の介護職への定着率	%	—	80.0	90.0

基本目標 3 関係機関や企業との連携

主要な施策

- ▶就労関係機関との連携強化
- ▶介護現場と連携したアクティブシニア*の介護福祉職への雇用の促進

成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
就労関係機関が実施する事業や就職に関する情報提供件数	件	55	60	63
関係機関と連携した雇用促進の取組件数	件	1	3	3

関連する個別計画

- 第3期阿南市地域福祉計画
- 阿南市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画

関連するSDGs



IV-6 交流

ビジョン

地域資源を生かした関係人口の創出・拡大と持続可能なまちづくり

● 現状と課題 ●

- 本市には、関西と東京を中心に、ふるさとを大切にしたいと想い、応援、貢献したいという気持ちを持って組織された「ふるさと会」があります。これまで築上げてきた会員との綿密な関係を、今後も発展させていく必要があります。
- 阿南SUPタウンプロジェクト*開始後、SUP関連による来市者が増加し、ビーチクリーン活動等への参加者が増加していますが、そうした関係人口を受け入れる中間支援組織の拡充・強化が課題となっています。
- 「阿南市版ふるさと納税制度*」により自主財源を確保するとともに、SDGsの達成にも貢献する地域活動等を通して、まちの外から阿南市を応援してくれる人々と共に新しい社会的価値を創造し、持続可能な社会を実現していく必要があります。
- 2019年4月の改正入管法*の施行に伴い、今後、本市においても外国人の増加も想定されることから阿南市国際交流協会との更なる連携が必要となってきます。

基本的な方向性

東京・関西の両ふるさと会の運営による関係人口の拡大・深化に加え、阿南S U Pタウンプロジェクトや国際交流協会の活動を支援し、地域づくりに関心の深い関係人口の受入体制の整備や組織化を図ります。今後は、関係人口の受入れに関わる中間支援組織の育成を図るとともに、地域との多様な関わりを創出し、移住・定住につなげていきます。

基本目標・主要な施策・成果指標

基本目標 1 関係人口の拡大・UIJ ターン*促進による地域経済好循環の実現

主要な施策

- ▶地域資源を生かした関係人口の創出・拡大による持続可能なまちづくりの推進
- ▶移住交流支援センター*を中心としたUIJ ターンの促進
- ▶ふるさと会と連携した本市ゆかりの方の郷土愛の醸成
- ▶国際交流の推進

成果指標

指 標 名	単 位	現状値	目標値	
		2019 年度	2024 年度	2028 年度
阿南市版ふるさと納税による寄附総額	千円	—	100,000	120,000
「EARTH SHIP PARTNER ANAN*」の推進によるSDGs目標達成に取り組む市内事業者数	件	—	100	120
県外からの移住者数	人	324	350	370

関連するSDGs

